

平成27年度 事務事業評価シート

章	6	担いあうまちづくり 【その他の関連事業】
節	-	-
施策	-	-
目標	-	-

NO	施策	事業名 【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan・Do													Check						Action																					
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24~H27)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果)		今後の事業の方向性 【H28以降】																				
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	名称	H25決算	H26決算						H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案																
1	-	戦没者追悼式関係経費	保健福祉部 社会福祉G	S46	-	ソフト	一般会計	戦没者の霊を慰め、追悼することで二度と惨禍の起こる事のない平和な社会を維持することを目的とする。	戦没者の関係者及び一般市民	国や北海道が行っている戦没者追悼式に準じて、戦没者遺族をはじめ関係者の参列のもと、市が式典を実施し、本市出身の戦没者の霊を慰め追悼し平和を祈念する。	戦没者追悼式参列者数	人	83	80	100	100	100	100	国庫支出金							H25以前	事業開始から40年を経過し、年々参列者が減少している中、段階的な縮小・廃止を含め今後の事業の在り方を検討する。	維持	国や北海道が行なっている戦没者追悼式に準じて式典を実施しており、高齢化等から参列者が減少してきているが、実施を希望する意見が多いことや、戦争の惨禍を後世に受け継いでいくという観点から今後も必要と思われる。	参列者の人数等を参考に、今後のあり方などを検討する。																		
																			道支出金																													
																			地方債																													
																			一般財源																	462	432	432	453	453	453							
合計																		462	432	432	453	453	453																									
2	-	登別市名誉市民及び功労者表彰・市表彰事業	総務部 総務G	S52	-	ソフト	一般会計	市民の総意による感謝の反映として、市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえることを目的とする。	市勢の振興発展に寄与した方や、本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等に顕著な功績があった方(登別市功労者表彰条例)	市勢の振興発展に寄与した方や本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等に顕著な功績があった方を表彰した。	登別市功労者表彰条例、登別市功労者表彰条例施行規則	表彰回数	回	1	1	1	1	1	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はなし。	維持	市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえるため、引き続き行う必要がある。	市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえるため																		
																			道支出金																													
																			地方債																													
																			一般財源																	1,210	705	2,144	2,733	2,733	2,733							
合計																		1,210	705	2,144	2,733	2,733	2,733																									
3	-	市バス運行業務委託事業	総務部 総務G	S52	-	ソフト	一般会計	市バスを効率的に運行することにより、市民サービスの向上を図ることを目的とする。	市が主催する行事、調査、視察及び研修参加者、または、市長が特に認めたもの(登別市車両管理規程)	市の各種事業にかかる参加者等の送迎のため、バスの運行業務を民間業者に委託した。【委託期間】平成23年4月1日から平成28年3月31日まで	登別市車両管理規程	年間使用件数	件	301	300	300	300	300	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	改善	福祉バスを含めた市行事等での利用が不可欠であるため、市バスについては、必要であると考えるが、委託方式によるか直営方式によるか検討が必要である。	平成28年度から市バス2台を購入し、市バス運転手として嘱託職員を雇用し、直営方式にて運用を行う。																		
																			道支出金																													
																			地方債																													
																			一般財源																	12,956	13,326	13,326										
合計																		12,956	13,326	13,326	0	0	0																									
4	-	ふるさとまちづくり記念品購入費	総務部 総務G	H21	-	ソフト	一般会計	ふるさとまちづくり応援寄附者に感謝の気持ちをこめて、登別市の特産品等を贈呈することにより、寄附金による収入確保と登別市のPRを行うことを目的とする。	寄附者に対して、寄附金額に応じた感謝の気持ちを込めて登別市の特産品等を贈呈する。	登別市ふるさとまちづくり応援寄附条例、登別市ふるさとまちづくり応援寄附条例施行規則	寄附件数	件	75	804	1,500	1,500	1,500	1,500	国庫支出金							H25以前	これまで、寄附者に贈呈する特産品などについて検討を行ってきたところではあるが、平成25年度からコンビニ収納を行い、寄附者の利便性の向上を図った。	改善	登別市の発展と活性化のため、寄附者に登別市の特産品等を贈呈して、感謝の意を示すことにより、登別市のPRにもつながることから、事業を実施することは妥当である。そのためさらなる寄附の拡大を図るため、引き続き人気の農・海産物などを視野に入れた記念品の見直しを行う。	平成28年4月1日からクレジットカード決済の導入及び業務の一部委託を行うとともに、本市の魅力ある記念品等の見直しを行う。																		
																			道支出金																													
																			地方債																													
																			一般財源																													
合計																		419	3,175	7,707	19,756	19,756	19,756																									